

取扱説明書



はじめに

このたびはフォナック社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

MLxi (エム・エル・エックス・アイ) はオーディオシューや専用アダプターを介して耳かけ型補聴器や人工内耳プロセッサに接続するユニバーサルタイプのダイナミック FM 受信機です。MLxi Baha はコクレア社骨固定型補聴器 Baha Divino 専用のダイナミック FM 受信機です。本製品は FM 送信機と一緒に使用します。

MLxi は接続された機器に合わせた設定の切り換えに自動的に切り換わるオートコネクト機能を持ち、さまざまな耳かけ型補聴器にそのまま接続して使用できます。

ご利用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

※ 本書では特に区別する必要がある場合を除き、MLxi と MLxi Baha を併せて「MLxi」と表記します。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠️ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠️ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容です。

⚠️ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「損傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。
-------	--

⚠️ 危険	<ul style="list-style-type: none"> 分解、改造をしないでください。 濡らさないでください。
-------	--

⚠️ 警告	<ul style="list-style-type: none"> 強い衝撃を与えたり落としたりしないようにしてください。 ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないでください。 レントゲン撮影や CT スキャン等の画像診断機器は FM システムに悪影響を及ぼします。これらの撮影を受ける前に FM システムを身体から離し、撮影室の外に置くことを強くお勧めします。また、MRI スキャンは強い磁気を用いるので、MRI 室に入る前には必ず身体から外してください。 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FM システムのご使用をお控えください。電子機器や医療用電子機器に影響を与える場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。 FM 製品で使用する電波 (169MHz 帯) は各国の電波法で規制されています。国内で購入した FM 製品を海外で使用したり、海外で購入した FM 製品を国内で使用したりすると電波法違反となるため、ご注意ください。
-------	--

⚠️ 注意	<ul style="list-style-type: none"> 過度の湿気や温度を避けてください。特に夏の時期、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。
-------	--

※ その他の注意事項

- MLxi は接続された補聴器から電源供給を受けます。そのため、補聴器の電池寿命がカタログなどに記載

されている時間より短くなりますが、補聴器の故障ではありませんのでご承知おきください。

- ダイナミック FM 送信機インスパイロ、ダイナミックのマルチ・トーカー・ネットワーク利用中を除き、室内で同じチャンネルの送信機を複数台使用することはできません。干渉ノイズが発生します。
- 使用後のお手入れの際、受信機が接続されたまま補聴器乾燥ケースに入れてください。その場合、必ず電池を取り出して電池ホルダーを開けたままにして乾燥ケースに入れてください。
- 高出力の電気製品が近くにある場合や金属で囲まれた部屋などで使用する場合、FM システムの使用可能距離が短くなる場合があります。
- FM システムはテレビ電波に近い周波数を使用しているため、テレビ放送塔から 1 km 以内の地域で使用した場合に雑音が混入することがあります。
- FM システムをアンテナや受信機の近くで使用した場合、テレビ画像に乱れが生じる場合があります。その様な場合には送信機をアンテナや受信機から離してください。

1. 本体および付属品

- 受信機 MLxi / MLxi Baha 本体
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

2. 各部の名称



- プラグ (ユーロピン)
- プッシュボタン
- Baha 用プラグ

3. MLxi の接続

- 使用する機器に合ったオーディオシューまたはアダプターを取り付けます。オーディオシューは使用する補聴器により異なります。他メーカーの補聴器を使用している場合、販売店にお問合せください。MicroLink CI S および Baha にはこの作業は必要ありません。
- オーディオシュー、アダプターまたは Baha のコネクタにしっかりと MLxi を差し込みます。MLxi のプラグは両端の太さが異なるため、オーディオシューの穴の大きさを確認して差し込んでください。MLxi Baha は Baha Divino の説明書を参考に、向きに注意して差し込んでください。



4. MLxi の使用方法

- MLxi が接続された補聴器、Baha Divino または人工内耳プロセッサの電源をオンにします。プッシュボタンを有効に設定した場合、MLxi の電源をオンにするためにプッシュボタンを 2 秒間長押しします (補足 1 参照)。必要に応じて補聴器を FM 用プログラムに切り替えてください。
- MLxi が接続された機器のタイプを読み込み、自動で適切な設定に切り替わります。初めて MLxi を使用する際、補聴器の読み込みに約 1 分間要します。読み込みの間、信号音が聞こえることがあります。次回から同じ機器に接続する際は、読み込みは数秒で終わります。
- 話し手は送信機を装着して電源をオンにします。必要に応じて送信機と MLxi のチャンネルを同期します。
- 話し手は普段通りの声の大きさとスピードで話しかけてみてください。聞き手の反応を見ながら、送信機から音声がきちんと届いているかどうかを確認してください。FM システムを安定して使用できる FM 送信機から FM 送信機までの距離は約 15 m です。

- MLxi のデフォルト・チャンネルが送信機のディスプレイに表示されているチャンネルと一致している場合、同期操作は必要ありません。
- FM を使用しないとき、オーディオシューおよび Baha Divino から MLxi を取り外す必要はありません。

5. チャンネルの変更

フォナック FM 製品には 6 つのチャンネルが登録されています (91, 92, 44, 96, 98, 99 補足 2 参照)。チャンネルは下記のような場合に変更してください。

- ✓ 使用しているチャンネルで干渉がある場合
- ✓ 隣接室で同じチャンネルを使用している FM ユーザーがいる場合

送信機からの同期操作で MLxi のチャンネルを変更することができます。チャンネルの同期の方法については各送信機の取扱説明書をご参照ください。

6. 保証期間とアフターサービス

- 不具合がある場合は修理いたします。
- 本製品の無償保証期間はご購入日より 1 年間です。
- 無償保証期間が過ぎて不具合がある場合、有償修理となります。
- 保証期間内であっても、お客様による誤った使用、過失、改造による故障の場合、有償修理となる場合があります。
- 製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「ご購入日」などが記載されていることを確認し、大切に保管してください。
- 修理を依頼する際、お求めの販売店にご連絡ください。修理の際には保証書が必要となります。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

Memo

補足 1: MLxi のプッシュボタンについて

MLxi にはプッシュボタンがあります。出荷時の MLxi のプッシュボタンは無効に設定されており、MLxi を使用する際はプッシュボタンの操作は必要ありません。



プッシュボタンを有効に設定することにより、2 秒間の長押しで MLxi の電源オン/オフの切り替え、一緒に使用する送信機や補聴器の種類によっては FM 用プログラム (FM+マイクもしくは FM) の切り替えが可能となります。

ただし、特に小さなお子様の場合、誤操作防止のためにも出荷時の設定 (プッシュボタン無効) のままにしておくことをおすすめします。プッシュボタンの設定変更はお求めの販売店にご相談ください。

- FM 用プログラム「FM+マイク」とは「送信機からの FM 音声と補聴器のマイクロホンからの音声が一緒に聞こえるプログラム」です。「FM」は「送信機からの FM 音声のみが聞こえるプログラム」です。
- MLxi、ダイナミック FM 送信機とプログラムの切り替えができない補聴器 (フォナック製マックス, ソロ T+ など) を組み合わせて使用する場合、プログラム「FM」がありません。
- MLxi、マルチ・チャンネル FM 送信機 (Campus SX, ZoomLink, EasyLink) とプログラムの切り替えができない補聴器 (例: フォナック補聴器マックス, ソロ T+ など) を組み合わせて使用する場合、プッシュボタンの短押し (1 秒間) でプログラムの切り替え (FM+マイク/FM) ができます。

補足 2: FM チャンネル

フォナック FM 製品は干渉の可能性が低い組み合わせの 6 つのチャンネルが登録されています (91, 92, 44, 96, 98, 99)。干渉ノイズが発生したり、隣り合う部屋で FM ユーザーがいたりする場合、チャンネルを変更してください。

標準規格	周波数	フォナック登録チャンネル	干渉の少ない条件のよいチャンネル
M01	169.4125	91	44, 96, 98, 99
M02	169.4375		
M03	169.4625		
M04	169.4875	92	96, 98, 99
M05	169.5125		
M06	169.5375		
M07	169.5625	44	91, 98, 99
M08	169.5875		
M09	169.6125		
M10	169.6375	96	91, 92, 99
M11	169.6625		
M12	169.6875		
M13	169.7125	98	91, 92, 44
M14	169.7375		
M15	169.7625		
M16	169.7875	99	91, 92, 44, 96

※ MLxi を含む受信機には電源をオンにしたときに起動するチャンネル (デフォルト・チャンネル) が登録されており、標準は 91 チャンネルです。別のチャンネルに変更することもできます。変更希望の際は販売店までお問い合わせください。

※ 送信機にはデフォルト・チャンネル機能がありません。電源をオンにすると、直前に使用していたチャンネルが表示されます。

※ 隣接する部屋で FM システムを使用する場合は干渉の少ないチャンネルを組み合わせで使用します。例えば隣の部屋が 91 チャンネルの場合、その隣の部屋は 44, 96, 98, 99 チャンネルから選択します。

補足 3: 人工内耳に接続する MLxi について

人工内耳と一緒に使用する MLxi は各プロセッサ専用の設定がされています。プロセッサごとに設定内容が異なるため、MLxi を別のプロセッサや補聴器に使用する際には再設定が必要になる場合があります。詳細については弊社までお問い合わせください。

設定の種類

- 補聴器用
 - コクレア社 携帯型フリーダム用
 - コクレア社 ESPrit 3G 用
 - メドエル社 OPUS スタンダード型用
 - コクレア社 Baha BP100 用
 - MicroLink CI S 用※
- ※MicroLink CI S は下記人工内耳プロセッサに使用します
アドバンスト・バイオニクス社
オーリア サウンドプロセッサ
BTE サウンドプロセッサ
プラチナ サウンドプロセッサ
S シリーズ スピーチプロセッサ
メドエル社
テンボプラス アングル型
OPUS リモート型
テンボプラス リモート型
コクレア社
ESPrint
SPrint

販売店

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社
〒141-0031
東京都品川区西五反田 5-2-4
レキシントン・プラザ西五反田
TEL 0120-06-4079 (お客様相談窓口)
FAX 0120-23-4080
www.phonak.jp

PHONAK
フォナック

life is on